

東日本大震災への対応 ⑭ —— 社会基盤の復興が着実に進捗

グループの総力を結集し、引き続き復興支援に努めていきます。

東日本大震災の被災地では復興工事が本格化し、岩手・宮城・福島のいわゆる被災3県では「防災集団移転促進事業（高台移転）」をはじめとして、堤防・護岸工事も継続して行われています。

また、5月30日にはJR仙石線が4年2カ月ぶりに全線再開といった明るい話題も聞かれ、鉄道や道路など社会基盤の復興も進んでいます。当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。☒



宮城県気仙沼市の防災集団移転造成工事



宮城県石巻市の地盤改良工事



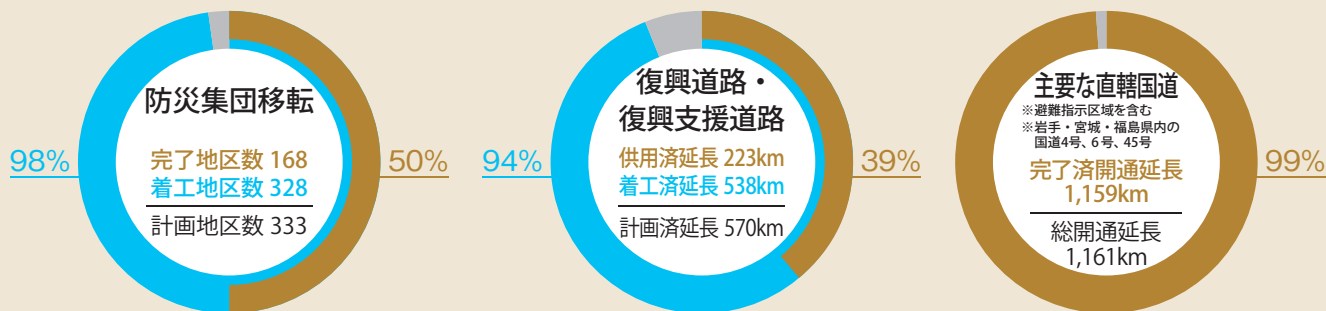
岩手県宮古市の新区界トンネル工事



岩手県盛岡市の手代森トンネル工事

■ 主な復興事業の進捗状況 (2015年3月末時点)

■ 完了 ■ 着工



出所：復興庁資料「公共インフラの本格復旧・復興の進捗状況（2015年5月22日）」を基に作成

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。

今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手の良いサイズなのでスポーツやお風呂などさまざまな用途でお使いいただけます。☒

ご応募の締め切りは2015年8月7日（金）当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



第51期第2四半期決算の概況 〔平成26(2014)年11月1日～平成27(2015)年4月30日まで〕

● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり四半期(当期)純利益 (円)
第51期第2四半期	68,307 (6.4)	10,652 (5.8)	10,655 (8.1)	6,528 (15.5)	181.14
第50期第2四半期	64,212 (17.3)	10,072 (49.2)	9,860 (46.9)	5,651 (52.1)	156.82

● 連結業績予想

第51期通期	128,600 (2.4)	16,960 (3.1)	16,610 (3.3)	9,520 (2.4)	264.16
--------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策などを背景に円安・株高が継続するなか、企業収益が改善し雇用環境も好転するなど、景気は穏やかな回復基調を辿りました。

[第2四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は震災復興工事や災害対策工事などが引き続き好調に推移しましたが、前期のような補正予算執行が無かったことから全国的に見るとやや落ち着いた状況となりました。また、民間設備投資は企業収益の改善から増加傾向が見られました。しかしながら一方では、建設従事者の不足による労務単価の上昇や、資材価格の高騰から入札不調が続き、依然として未着工案件が絶えないなどの問題が残りました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の諸施策に基づく重点項目の進捗を図りつつ、将来へ向けた企業体質の強化と財務基盤の改善に努めました。また、建設市場の変化を見据えた海外戦略につきましては、新たにタイ、ベトナム、フィリピンに合弁会社の設立を進めるなど、将来へ向けた収益機会の確保のための事業施策を積極的に推進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は683億7百万円(前年同期比6.4%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は106億52百万円(同5.8%増)、経常利益は106億55百万円(同8.1%増)、また、四半期純利益は65億28百万円(同15.5%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、震災復興事業の本格化に加え、防災対策工事やインフラ関連工事を中心に建設機械のレンタル需要は底堅く推移いたしました。

この需要拡大を受け、引き続き積極的に設備投資を実施したほか、高水準な需要が続く東北地区へ建設機材を移動配置するなど、稼働率の維持向上に努めました。

なお、中古建機販売売上につきましては、適正な資産構成を維持するため、期初計画に基づき自社機の売却を推し進めたことから、前年同期比53.9%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は640億12百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は103億44百万円(同5.3%増)となりました。

その他

その他の事業につきましては、民間需要の回復から鉄鋼製品販売が当初想定より大きく伸長したこともあり、売上高は42億95百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は1億19百万円(同49.9%増)となりました。

[事業所数の増減]

当第2四半期連結会計期間における拠点の新設及び閉鎖はありませんでした。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

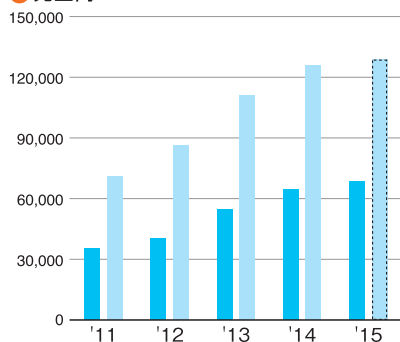
(単位:百万円)	第50期第2四半期 (2013.11.1~2014.4.30)	第51期第2四半期 (2014.11.1~2015.4.30)
① 売上高	64,212	68,307
売上原価	42,706	45,746
売上総利益	21,506	22,561
販売費及び一般管理費	11,434	11,908
② 営業利益	10,072	10,652
営業外収益	327	357
営業外費用	539	354
③ 経常利益	9,860	10,655
特別利益	31	128
特別損失	61	49
税金等調整前四半期純利益	9,830	10,735
法人税、住民税及び事業税	3,920	3,979
法人税等調整額	△ 160	△ 34
少数株主損益調整前四半期純利益	6,070	6,790
少数株主利益	418	262
④ 四半期純利益	5,651	6,528

連結包括利益計算書(累計)

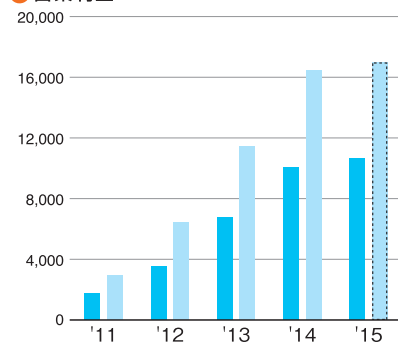
(単位:百万円)	第50期第2四半期 (2013.11.1~2014.4.30)	第51期第2四半期 (2014.11.1~2015.4.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,070	6,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	467
為替換算調整勘定	△ 3	25
その他の包括利益合計	158	493
四半期包括利益	6,228	7,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,809	7,017
少数株主に係る四半期包括利益	418	266

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

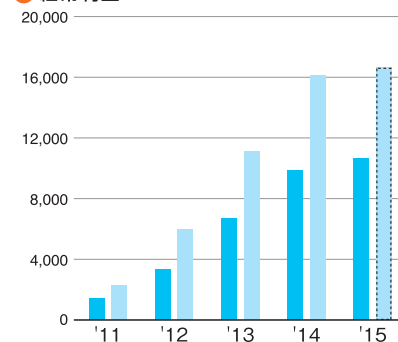
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



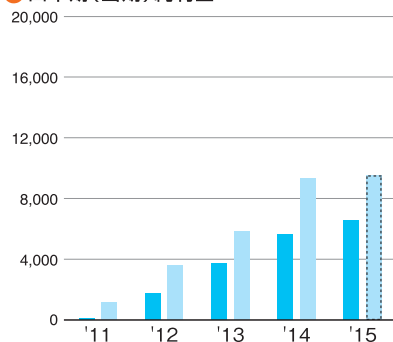
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第50期第2四半期 (2014.4.30)	第51期第2四半期 (2015.4.30)
(資産の部)		
流動資産	69,291	79,221
固定資産	110,961	122,479
有形固定資産	103,697	113,710
無形固定資産	259	255
投資その他の資産	7,003	8,513
⑤ 資産合計	180,252	201,700
(負債の部)		
流動負債	58,133	63,807
固定負債	60,000	65,831
負債合計	118,133	129,638
(純資産の部)		
株主資本	58,267	67,180
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	29,753	38,667
自己株式	△ 55	△ 56
その他の包括利益累計額	1,724	2,481
その他有価証券評価差額金	1,729	2,445
為替換算調整勘定	△ 4	35
少数株主持分	2,127	2,400
⑥ 純資産合計	62,119	72,062
負債純資産合計	180,252	201,700

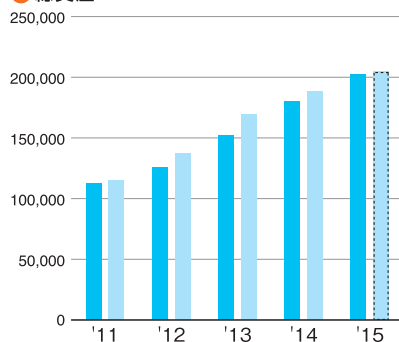
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第50期第2四半期 (2013.11.1~2014.4.30)	第51期第2四半期 (2014.11.1~2015.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,668	17,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,456	△ 1,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,509	△ 12,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	715	3,712
現金及び現金同等物の期首残高	32,957	31,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,672	35,692

④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産

